

事業名：スポーツ少年団補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	05 市民スポーツ活動の充実								
基本事業	02 スポーツ・レクリエーション機会の充実								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	登録団数	団	45	44	42	42
対象指標2	登録団員数	人	1,256	1,185	1,101	1,101
活動指標1	補助金額	千円	2,150	2,100	2,030	1,930
活動指標2						
成果指標1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	12.5	12.2	11.7	11.9
成果指標2	認定指導員の数	人	134	142	139	140
事業費(A)		千円	2,150	2,100	2,030	1,930
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	2,953	2,902	2,811	2,712

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出	・補助金 2,030千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
少年団事業を通じて、青少年がスポーツ活動に親しむことは、青少年の心身の健全な育成につながることから、妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
少年団の活動によって、青少年がスポーツに触れる機会が増しており、スポーツ・レクリエーション機会の充実に貢献している。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
少子化が進む中、登録団員数は一定の人数を保っており、青少年がスポーツに触れる機会を確保している。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
指導者の養成と活動場所の確保という条件が整えば、少年団員の増が期待できる。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。	